

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務	薬業		医薬品販売専攻 1350 ヘルス&ビューティ専攻 1350 薬剤師アシスタント専攻 1275	160	
	医療事務		病院事務専攻 1215 病院秘書クーク専攻 1215 調剤薬局事務専攻 1215	160	
医療専門	診療放射線		1935	240時間 (9単位)	
	看護		2334	240時間 (9単位)	
教育社会福祉専門	保育		1350	160時間 (6単位)	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL=https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/2_teacher_subject.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/6_officer.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立学校法人前校長	2020.4.1～ 2024.3.31	各部会との調整
非常勤	民間企業職員	2020.4.1～ 2024.3.31	関連業界との調整
非常勤	弁護士事務所所長	2020.4.1～ 2024.3.31	専門的な助言
非常勤	司法書士事務所所長	2020.4.1～ 2024.3.31	専門的な助言
非常勤	私立学校法人理事	2020.4.1～ 2024.3.31	関連業界との調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画(シラバス)は、全学科(専攻)・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画(シラバス)の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>薬業学科 URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus1_yakuzi.pdf</p> <p>医療事務学科 URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus2_iryozimu.pdf</p> <p>診療放射線学科 URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus4_hoshasen.pdf</p> <p>看護学科 URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus5_kango.pdf</p> <p>保育学科 URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus3_hoiku.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画(シラバス)内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の算定方法としてGPAを採用し、教科ごとに年間2期(前期評定、学年末評定)に分け成績を評価する。さらに学科ごとに成績分布状況を作成把握し、学習指導の指針とする。</p> <p>なお、2018年度までは学科ごとに成績の分布状況の一覧表を作成していたが、2019年度より学内統合情報システムによる一括成績管理、学科学年ごとの成績分布一覧を開始した。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/5_grade_index.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定に係る取組は、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>URL=http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/3_subject_evaluation.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/7_finance.pdf
収支計算書又は損益計算書	URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/7_finance.pdf
財産目録	URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/7_finance.pdf
事業報告書	URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/7_finance.pdf
監事による監査報告（書）	URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/7_finance.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

A) 薬業学科 医薬品販売専攻

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	薬業学科 医薬品販売専攻	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	1850 単位時間/単位	1035 単 位時間 /単位	390 単位時間 /単位	365 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
	昼間		1850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	0人	2人	28人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科（専攻）・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上にて公表している。
学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。

成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画(シラバス)内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
(概要) 本人・保護者への連絡・相談等

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ドラッグストア、スーパー・ホームセンター内の医薬品販売部、調剤薬局			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、個別対応(履歴書作成、面接練習等)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 登録販売者12人/12人、薬学検定3級12人/12人、			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	3人	2.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

B) 薬業学科 ヘルス&ビューティ専攻

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	薬業学科 ヘルス&ビューティ専攻	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1850 単位時間/単位	1020 単位時間 /単位	405 単位時間 /単位	365 単位時間 /単位	60 単 位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1 850 単位時間/単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		10人	0人	2人	28人	30人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 授業計画 (シラバス) の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画 (シラバス) は、全学科 (専攻) ・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上に公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画 (シラバス) の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画 (シラバス) 内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) 本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90%)	1人 (10%)
（主な就職、業界等） ドラッグストア美容販売員、医療機関			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者9人/10人、薬学検定10人/10人			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

C) 薬業学科 薬剤師アシスタント専攻

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	薬業学科 薬剤師アシスタント専攻	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1850 単位時間/単位	1005 単位時間/単位	390 単位時間/単位	395 単位時間/単位	60 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		36人	0人	2人	28人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科（専攻）・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上に

<p>て公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	14人 (93.3%)	1人 (6.7%)
<p>（主な就職、業界等） 調剤薬局、医療機関</p>			
<p>（就職指導内容） 就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者 15人/15人 薬学検定3級 15人/15人</p>			
<p>（備考）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	0人	0%
<p>（中途退学の主な理由）</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア</p>		

D) 医療事務学科 病院事務専攻

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	医療事務学科 病院事務専攻	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1790 単位時間/単位	1035 <small>単位時間 /単位</small>	525 <small>単位時間 /単位</small>	230 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>
			1790 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		27人	0人	2人	26人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科（専攻）・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院、診療所等医療機関			
（就職指導内容） 就職セミナー、就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医科医療事務管理士 8人/8人 コンピューターサービス（ワープロ）3級 8人/8人、			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	1人	4.8%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

E) 医療事務学科病院秘書クラーク専攻

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務	医療事務学科 病院秘書クラーク専攻	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1790 単位時間/単位	1035 単位時間 /単位	525 単位時間 /単位	230 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1790 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	7人	0人	2人	26人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科（専攻）・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上に公表している。

<p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） 病院、診療所等医療機関</p>			
<p>（就職指導内容） 就職セミナー、就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 医科医療事務管理士7人/7人 コンピューターサービス（ワープロ）3級 7人/7人</p>			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

F) 医療事務学科調剤薬局事務専攻

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	医療事務学科 調剤薬局事務専攻	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1790 単位時間/単位	1035 <small>単位時間 /単位</small>	525 <small>単位時間 /単位</small>	230 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>
			1790 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		13人	0人	2人	26人	28人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 授業計画 (シラバス) の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画 (シラバス) は、全学科 (専攻) ・学年で学生並びに講師へ配布・周知している。併せて下記 URL にてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画 (シラバス) の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画 (シラバス) 内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) 本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (%)	8人 (80%)	2人 (20%)
（主な就職、業界等） 病院、診療所等医療機関、調剤薬局等			
（就職指導内容） 就職セミナー、就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医科医療事務管理士 8人/8人、医師事務作業補助者 10人/10人			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

G) 診療放射線学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	診療放射線学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	新カリキュラム 3150 単位時間/137 単位	1980 時間	90 時間	720 時間	360 時間	0 時間
		旧カリキュラム 3045 単位時間/132 単位	1965 時間	90 時間	630 時間	360 時間	0 時間
		3150 単位時間/137 単位					
		3045 単位時間/132 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	117人	0人	6人	32人	38人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

28 人 (100%)	1 人 (2.7%)	27 人 (73.0%)	0 人 (24.3%)
(主な就職、業界等) 病院、検査機関			
(就職指導内容) 進路相談、個別面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	10 人	8.7 %
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談等による個別指導		

H) 看護学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	新カリキュラム 3015 単位時間/104 単位	1579 <small>単位時間 /単位</small>	377 <small>単位時間 /単位</small>	1035 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>	24 <small>単位時間 /単位</small>
		旧カリキュラム 3000 単位時間/98 単位	1666 <small>単位時間 /単位</small>	299 <small>単位時間 /単位</small>	1035 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>
			3015 単位時間/104 単位				
			3000 単位時間/98 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		122 人	0 人	8 人	89 人	97 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画 (シラバス) は、全学科 (専攻) ・学年

<p>で学生並びに講師へ周知している。併せて下記 URL にてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容「教科名」「単位数」「担当講師」「実務経験の概要」「教科目概要」「学習目標」「到達目標」「評価方法」「教科書・教材等」「講義内容と計画」について説明する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもない事を条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組みの概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）卒業認定に係る取組みは、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	41人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） 看護師</p>			
<p>（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職相談、履歴書指導、面接指導などを実施</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 第111回看護師国家試験41名受験41名合格（100%）</p>			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	3人	2.38%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談、保護者との連携を密にし、学生を支援していく。カウンセリングなどは専門家との連携を図り、早期介入を行う。

I) 保育学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	保育学科	専門士	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2130 単位時間/ 84単位	480 時間	1380 時間	240 時間	時間	30 時間
			2130 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		5 人	0 人	6 人	10 人	16 人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	0 人 (%)	3 人 (100%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 保育所 障害者支援施設 児童福祉事業等			
(就職指導内容) 職業内容 面接練習 接遇方法			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士資格取得 幼保英語検定4級取得 全国手話検定5級取得 硬筆書写技能検定3級取得			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)
教育相談体制の強化 情報の共有

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費 (年間)	実習費 (年間)	教材費・学生 諸費 (年間)	合計
薬業	100,000 円	600,000 円	100,000 円	20,000 円	25,000 円	845,000 円
医療事務	100,000 円	600,000 円	100,000 円	20,000 円	25,000 円	845,000 円
診療放射線	250,000 円	700,000 円	200,000 円	180,000 円	35,000 円	1,365,000 円
看護	200,000 円	700,000 円	250,000 円	150,000 円	65,000 円	1,365,000 円
保育	100,000 円	550,000 円	100,000 円	2年 20,000 円	30,000 円	2年 685,000 円
修学支援 (任意記載事項)						

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/selfcheck_R3.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価ガイドラインに則り、すべての教職員により自校の教育理念・目的・育成人材、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令遵守等について自己評価を行い、その結果及び改善策等について、外部委員から意見や助言をいただき、教育活動の充実を図る。学校関係者評価委員会は、卒業生を含む外部委員 (4 名) と学校運営に携わる教職員で構成し、年 1 回開催。学校運営の改善等の指針に役立っている。結果については、議事録をホームページで公表している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社アトリエ・K 一級建築士事務所	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	企業関係者
有限会社 I. B. DESIGN	同上	卒業生・企業関係者
司法書士事務所 元所長	同上	企業有識者
株式会社 asclair	同上	卒業生・企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL= https://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/2022/evaluation_R04.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL= http://www.iyaku.ac.jp

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		56人	55人	111人
内 訳	第Ⅰ区分	29人	29人	
	第Ⅱ区分	16人	－人	
	第Ⅲ区分	11人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				111人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。